

2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 信和株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3447 URL <http://www.shinwa-jp.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山田 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 平澤 光良 (TEL) 0584-66-4436
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,756	△36.1	205	△56.7	188	△58.7	121	△59.6	121	△59.6	120	△59.7
2020年3月期第1四半期	4,313	5.2	474	8.7	456	8.5	299	14.6	299	14.6	299	14.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.60	8.57
2020年3月期第1四半期	21.44	21.29

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,844	13,303	13,255	63.6
2020年3月期	21,620	13,788	13,740	63.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
第2四半期(累計)	6,130	△34.6	367	△70.0	331	△72.1	215	△73.6	215	△73.6	15.26
通期	13,900	△18.6	1,230	△44.3	1,158	△45.9	804	△45.2	797	△45.7	56.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	14,089,200株	2020年3月期	14,089,200株
2021年3月期1Q	一株	2020年3月期	一株
2021年3月期1Q	14,089,200株	2020年3月期1Q	13,988,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる事項等につきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、消費活動のみならず社会経済活動が著しく停滞したことから、極めて厳しい状況となっております。

当社製造製品の供給先である建設業界におきましては、政府による緊急事態宣言の発令に伴い、建築工事現場における工事の中断・延期、先行き不安により新規投資が抑制される等の影響がみられました。

このような非常事態の中、当社グループにおきましては、まずは社員及び取引先の健康を最優先として、感染リスクの高い東京支店の一時閉鎖や、製造工場の一時休止を行うとともに、全拠点にて在宅勤務の推進、営業担当の顧客先訪問の自粛など、感染と拡散の防止に努めてまいりました。

また、売上収益の減少に備え、役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の見直し等、あらゆる手段を通じたコスト削減、支出抑制に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,756百万円(前年同期比36.1%減)、売上総利益率は24.2%(前年同期比0.3ポイント改善)、営業利益は205百万円(前年同期比56.7%減)、営業利益率は7.4%(前年同期比3.6ポイント下落)、税引前四半期利益は188百万円(前年同期比58.7%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は121百万円(前年同期比59.6%減)となりました。

なお、当社グループは単一の事業セグメントであるため、以下では各部門の売上収益について記述しております。

① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う期初の見込みとして、建築工事現場における工事の中断・延期、並びに、新規建設投資案件の延期等の影響が拡大することにより、急速に需要が後退する結果、第1四半期(4月～6月)における仮設資材部門の売上収益は、前年より概ね5割程度減少するものと想定しておりました。しかしながら、建設工事現場の活動は想定ほどには落ち込まず、当社製品に対する需要が想定を上回って推移したことから、当第1四半期連結累計期間における仮設資材部門の売上収益は2,290百万円と、前年同期比38.6%減となりました。

② 物流機器部門

物流機器部門においては、自動車産業向けパレットや液体搬送用バルクコンテナ等の海外との物流に関わる製品は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外との物流減少の影響を受けております。また、物流倉庫など、国内における建設工事の延期による影響も受けており、期初の段階での物流機器部門の売上収益は、前年より概ね1割程度減少すると見込んでおりました。しかしながら、想定よりも需要減少の影響が大きく、当第1四半期連結累計期間における物流機器部門の売上収益は466百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

(単位：千円)

製品及びサービスの名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
仮設資材	くさび緊結式足場	2,230,843	1,180,886
	次世代足場	575,346	391,667
	その他の仮設資材	924,025	718,133
	(小計)	3,730,215	2,290,686
物流機器	パレット	583,109	466,163
	(小計)	583,109	466,163
合計		4,313,325	2,756,850

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は7,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円減少しました。この主な要因は、営業債権及びその他の債権が425百万円減少、また棚卸資産が263百万円減少したためであります。また、非流動資産は13,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産が100百万円減少したためであります。この結果、資産合計は20,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円減少しました。この主な要因は、未払法人所得税が354百万円減少したためであります。また、非流動負債は5,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。この結果、負債合計は7,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ291百万円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は13,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ484百万円減少しました。この主な要因は、四半期利益の計上121百万円、配当の実施619百万円により利益剰余金が498百万円減少したためであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し3,073百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは593百万円となり、前年同四半期と比べ5百万円増加しました。主な収入要因は、税引前四半期利益188百万円、減価償却費及び償却費176百万円、営業債権及びその他の債権の減少382百万円、棚卸資産の減少263百万円であり、主な支出要因は、法人所得税の支払額432百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は43百万円となり、前年同四半期と比べ46百万円減少しました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出45百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は595百万円となり、前年同四半期と比べ25百万円減少しました。主な支出要因は、配当金による支出600百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日の決算短信にて公表いたしました第2四半期連結累計期間、及び、通期の連結業績予想数値につきましては、変更はありません。

当連結会計年度の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、経済活動レベルを段階的に引き上げていく中で、状況が改善に向かうことが期待されますが、国内外の感染症の動向や、海外の通商問題ならびに経済動向といった不確実要素が多く、極めて不透明な状況ではあるものの、下記の前提をもとに通期見通しを策定しております。

① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、緊急事態宣言の解除に伴い中断・延期されていた工事が再開され、仮設資材に対する需要の回復が期待されるものの、需要全体のボリュームは低調に推移するものと想定し、第2四半期(7月～9月)における仮設資材部門の収益は、前年より概ね3割程度減少するものと見込んでおります。

また、第3四半期以降においては、リフォーム工事や社会的インフラの維持修繕工事などの建築需要が徐々に回復するとともに、第4四半期には仮設資材への投資需要が前年並みに推移することを前提として、第3四半期(10月～12月)の売上収益は、前年より概ね2割減、第4四半期(1月～3月)の売上収益は、概ね前年並みと、緩やかな回復基調で推移するものと見込んでおります。

以上により、仮設資材部門の通期売上収益は11,018百万円(前期比24.2%減)を見込んでおります。

② 物流機器部門

物流機器部門は、建設業界のみならず、自動車産業向けパレットや、電気精密機器業界向けパレット、物流倉庫向けラック、農水産業界、化学産業向けなど、幅広い業種業界に対して、オーダーメイドの製品を供給しております。

このうち、自動車産業向けパレットや液体搬送用バルクコンテナ等の海外との物流に関わる製品は、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う物流減少の影響を受けております。また国内においては、物流倉庫などの建設工事の延期による影響も受けております。

第2四半期における売上収益は、物流機器への需要減少の影響が9月末まで継続するものと想定しております。加えて、当初見込んでいた大型倉庫の工事案件が第3四半期へ延期される見通しとなったため、前年より概ね3割程度減少するものと見込んでおります。

一方、10月以降においては、海外との物流や物流機器への投資が正常化するものと想定し、また物流倉庫の大型案件も予定されていることから、第3四半期(10月～12月)の売上収益は、前年より概ね5割増、第4四半期(1月～3月)の売上収益は、前年より概ね3割増で推移するものと見込んでおります。

以上により、物流機器部門の通期の売上収益は2,882百万円(前期比13.6%増)を見込んでおります。

コスト面におきましては、引き続き役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の見直し等を行い、あらゆる手段を通じたコスト削減に努めてまいります。

以上にに基づき、次期の業績見通しにつきましては、売上収益13,900百万円(前期比18.6%減)、営業利益1,230百万円(前期比44.3%減)、税引前利益1,158百万円(前期比45.9%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益797百万円(前期比45.7%減)を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいた想定のもとに算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響や需要動向などの業況の変化等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,120,411	3,073,952
営業債権及びその他の債権	2,777,446	2,351,888
棚卸資産	2,405,597	2,142,355
その他の流動資産	42,132	81,327
流動資産合計	8,345,587	7,649,524
非流動資産		
有形固定資産	2,370,577	2,269,682
使用権資産	353,196	381,639
のれん	9,221,769	9,221,769
無形資産	1,258,021	1,252,041
その他の金融資産	59,617	58,187
その他の非流動資産	11,760	11,208
非流動資産合計	13,274,943	13,194,529
資産合計	21,620,530	20,844,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	739,649	699,928
借入金	495,430	495,933
未払法人所得税	432,829	78,500
その他の金融負債	83,340	80,328
その他の流動負債	267,084	340,318
流動負債合計	2,018,335	1,695,011
非流動負債		
借入金	5,202,637	5,206,205
引当金	45,561	45,565
その他の金融負債	240,131	273,169
繰延税金負債	321,913	316,957
その他の非流動負債	3,900	3,900
非流動負債合計	5,814,144	5,845,799
負債合計	7,832,479	7,540,810
資本		
資本金	150,125	150,125
資本剰余金	6,951,814	6,966,121
利益剰余金	6,640,266	6,141,549
その他の資本の構成要素	△1,534	△1,799
親会社の所有者に帰属する 持分合計	13,740,672	13,255,996
非支配持分	47,378	47,247
資本合計	13,788,051	13,303,243
負債及び資本合計	21,620,530	20,844,053

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	4,313,325	2,756,850
売上原価	△3,283,139	△2,089,839
売上総利益	1,030,186	667,011
販売費及び一般管理費	△555,369	△474,335
その他の収益	631	14,520
その他の費用	△1,321	△2,116
営業利益	474,127	205,080
金融収益	53	20
金融費用	△17,945	△16,723
税引前四半期利益	456,235	188,377
法人所得税費用	△156,275	△67,060
四半期利益	299,959	121,317
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	299,959	121,207
非支配持分	—	110
四半期利益	299,959	121,317
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	21.44	8.60
希薄化後1株当たり四半期利益	21.29	8.57

要約四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	299,959	121,317
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性がある項目：		
在外営業活動体の外貨換算差額	—	△506
純損益に振り替えられる可能性がある項目 合計	—	△506
税引後その他の包括利益	—	△506
四半期包括利益合計	299,959	120,810
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	299,959	120,942
非支配持分	—	△131
四半期包括利益合計	299,959	120,810

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2019年4月1日残高	150,125	6,915,576	5,793,305	12,859,007	12,859,007
会計方針の変更の 影響額	—	—	△4,805	△4,805	△4,805
2019年4月1日 修正再表示後残高	150,125	6,915,576	5,788,499	12,854,201	12,854,201
四半期利益	—	—	299,959	299,959	299,959
四半期包括利益合計	—	—	299,959	299,959	299,959
配当金	—	—	△615,507	△615,507	△615,507
株式報酬取引	—	18,445	—	18,445	18,445
所有者との 取引額等合計	—	18,445	△615,507	△597,061	△597,061
2019年6月30日残高	150,125	6,934,022	5,472,952	12,557,099	12,557,099

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
				在外営業活 動体の外貨 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2020年4月1日残高	150,125	6,951,814	6,640,266	△1,534	△1,534	13,740,672	47,378	13,788,051
四半期利益	—	—	121,207	—	—	121,207	110	121,317
その他の包括利益	—	—	—	△265	△265	△265	△241	△506
四半期包括利益合計	—	—	121,207	△265	△265	120,942	△131	120,810
配当金	—	—	△619,924	—	—	△619,924	—	△619,924
株式報酬取引	—	14,306	—	—	—	14,306	—	14,306
所有者との 取引額等合計	—	14,306	△619,924	—	—	△605,618	—	△605,618
2020年6月30日残高	150,125	6,966,121	6,141,549	△1,799	△1,799	13,255,996	47,247	13,303,243

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	456,235	188,377
減価償却費及び償却費	159,764	176,478
金融収益及び金融費用	17,891	16,702
株式報酬費用	18,445	14,306
棚卸資産の増減	△293,041	263,216
営業債権及びその他の債権の増減	114,074	382,448
営業債務及びその他の債務の増減	223,682	△73,027
その他の増減	96,294	67,192
小計	793,347	1,035,695
利息及び配当金の受取額	53	20
利息の支払額	△10,409	△9,657
法人所得税の支払額	△195,043	△432,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	587,947	593,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△88,925	△45,152
無形資産の取得による支出	△1,255	—
その他	△141	1,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,321	△43,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス費用の支出	△1,416	△3,481
非支配持分からの払込による収入	—	32,447
配当金の支出	△591,946	△600,697
リース負債の返済による支出	△27,704	△23,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621,066	△595,580
現金及び現金同等物の為替変動による影響	—	△386
現金及び現金同等物の増減額	△123,440	△46,458
現金及び現金同等物の期首残高	1,742,662	3,120,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,619,221	3,073,952

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。